

単元名 詩の楽しみ方を見つけよう

配当時間 4時間

- 単元の目標 (1) 文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。
 (2) 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や意見をもち、それを伝え合うことで自分の文章の良いところを見付けることができる。
 (3) 詩を読んで感想や考えをもち、詩のおもしろさを紹介する文章を書いたり、詩を創作したりしようとする。

標準的な展開例

03010301_001

【教材名】詩のくふうを楽しもう (下 P. 88～P. 91)

【準備等】詩集、詩集を作る用紙

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 6編の詩の音読をし、どんなところがおもしろいか発表する。 ★詩を音読し、おもしろさを伝え合おう。 ○6編の詩を音読する。 ○6編の詩からおもしろいところを見付けて、発表したり音読で表現したりする。</p> <p>2～4 書いた文章や詩を作り、友達と交流する。 ★詩を紹介したり、書いたりしよう。 ○活動を選ぶ。</p> <p>○おもしろい工夫だと思うものを見付け、紹介する文章を書く。</p> <p>○詩を創作する。</p> <p>○書いた文章や詩を読み合い、感想を交流する。</p> <p>○学習を振り返る。</p>	<p>・比喩や繰り返しの表現に着目させる。 【評】詩のおもしろさを見付けて発表したり、音読で表現したりする活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・「おもしろい工夫だと思うものを見付け、紹介する文章を書く」か「詩を創作する」のどちらかの活動を選ばせる。 ・教科書(P.91)を参照させる。 ・これまでに読んだ詩の中からおもしろいと思う工夫を見付けさせる。 【評】詩のおもしろさを紹介する文章を書く活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・6編の詩で見付けた工夫を使わせる。 【評】詩を創作する活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・自分の文章の良いところを見付けさせる。 【評】文章に対する感想を伝え合う活動を通して、自分の文章の良いところを見付ける「思考・判断・表現」を評価する。 ・活動を通して、気付いた詩のおもしろさを発表させる。 ・教科書(P.91)「この本、読もう」で詩集の読み広げに意欲をもたせる。</p>

【 備 考 】